

平成 25 年 3 月 8 日（金）10：30～

坂出市役所 3 F 委員会室

## 第一回坂出市史編さん委員会

出席者

（編さん委員）

木原 和田 竹内 丹羽 大山 田中 橋詰 山本 濱近 澤井 丸尾 田井 津山

（坂出市）

市長 副市長 教育長 総務部長 総務課長 野島 唐木 西川

市長 編さん委員に辞令交付

1. 所長 編さん委員の紹介
2. 市長 開会のあいさつ
3. 編さん委員長竹内氏・副委員長丹羽氏選出
4. 編さん委員長(議長)・副委員長あいさつ
5. 議題

(1) 市史編さん事業基本計画について①②を所長より説明

⑪～⑫はよい題があればご教示いただきたい。

協議質問等

田中委員 通史編は内容が難しくならざるを得ない。従って通史編をもとに小中学校の教材をつくるのは難しいけれども、例えば中世の三豊のようにビジュアル化して教材として小中学校でも使えるようにしてもらいたい。(坂出市の)地域に即し、その地域でつかえるものにしてほしい。

議長 坂出市史はそのような趣旨で作成したい。置いておくものではなく使えるものにしたい。

山本委員 専門性を保ちつつ、わかりやすい通史を作成したい。編さん委員と専門委員間の意思の統一はどうやって図るのか？編さん委員会や専門部会の開催を定例化しては？

通史編では坂出市の管内地図を入れてほしい。文化史さかいでではもっと詳しい「大字」「小字」までわかるものを掲載したい。市民にも分かりやすいと思う。

所長 (編さん委員と専門委員全体の部会は) 時間調整が非常に難しいので、編さん委員と専門委員間の連絡調整については編さん所で行い、共通理解を図るようにする。

田中委員 作業部会の部会長に集まってもらってはどうか？

議長 部会長に集まってもらおう。定例化するの難しいが事務局で検討してほしい。

橋詰委員 全体の会合も必要だが、まず文化史さかいでの会合を一番にもったほうがよいのではないか。編さん委員調査委員の参加も大事だが自治体史は市民の参加がないと本当の自治体史にはならない。

議長 (市民に参画してもらうために) 具体的には？

橋詰委員 (市民に) 関心を持ってもらうことが必要。方法としては市史を読む会、古文書を読む会等で市民に興味をもってもらう。

所長 市民の人材や活動を編さん所でキャッチしていかねばならない。本の読み聞かせをしている人たちや井上委員や津山委員と一緒に活動しているメンバーなどから担当のキャップになっていただく委員の必要としている人材を発掘していき市史編さんに生かしていく。

議長 いろいろな形で編さん委員会の動向を市民にアクティブに流していく。問題提起として1年様子を見ながら良い方法があれば行っていったらどうか。市民との関係を断ってしまうと市史編さんは(成功して)いけない。

濱近委員 文化史さかいでで分量的にどうかとは思いますが、坂出市の財産として柿本人麻呂の歌碑とか中川与一や東山魁夷せとうち美術館とか文化スポットを膨らませビジュアルなものを作ったら？

議長 わかりやすくということをは心がけなければならない。

澤井委員 市内の小中学生に久米栄左衛門とか津島寿一とか坂出の偉人の6ページ位のパンフレットを作成して好評である。関心を持った史跡を訪ねることができるものを教育委員会で作成しているのでそれらを踏まえたものを作成したい。

田中委員 子供たち(のために)もそうだが今は長寿で高齢化社会である。国府でも一日で1000名以上も(高齢者が)現地説明会に参加されている。(だから高齢者向けの)生涯学習として見て歩くガイドブックのようなものがよいのではないか。

所長 (1)①②について概ねご同意いただきました。

(編さんスケジュール、編さん調査委員の選任および推薦、執筆要領について説明、了承を得た。)

議長 部会長についての確認はいかがでしょう。

木原委員 部会長に私の名前があるが？

所長 (顧問には) 部会員として部会にも参画していただきたい。

議長 前に書いている方が部会長です。同意いただけましたね。

(2) 事務手続き等を所長が説明

津山委員 私事ですが昨年9月で85歳になりました。高齢で体力気力もおとろえていますが(尽力したいので)よろしくお願いします。

和田委員 近現代の部会を早急に計画し開催してほしい。

議長 それでは閉会します。